

土器素焼の原料

惣右衛門沢に無盡藏

知事 対談の工藤氏を訪ねて



一月五日附 お伺ひした。本紙(第九)その日工藤さんのところには来客が...



工藤氏の工場内にて

青少年に対する要望

金木地区警察署長 小山内正樹



青少年は社会活動の源である。その道徳的、肉体的、精神的な成長を促すことが...

いわゆる人身売買

防止のしおり

昔から子供の「身売り」といわれてきた。最近では、青少年を雇入して...

二、誘惑に

かからない心得

①通学、通勤途中の途次は誘惑の第一歩である。②通学、通勤途中の途次は誘惑の第一歩である...

金木町保育所 母の会役員名簿

- 四月からのあしあと
四月一日 金木小学校入学式
四月二日 町教育委員会
四月三日 組合立金木高等小学校入学式

観光金木の 総業書及スライドの作製準備に入る

七月二十七日午後三時より町長室で金木町観光委員会を開き、観光金木の発展のため、二年計画で...

編集後記

暑中御慶申し上げます。天候不順で本年は冷害でも心配していましたが、ようやく三十一日までの夏らしい暑さを取戻して...

発行所 金木町役場 印刷所 東奥日報社 印刷局 金木たよりは毎月一回発行し各世帯毎に一部ずつ無料郵付致しております。

金木遺跡と郷土史特集

金木遺跡と郷土史特集

金木遺跡と命名 石器か、自然の造形か

結論は秋の学会会議で

日本には全然ないことが定説となつてゐた旧石器時代の日本文化が覆されるのではないかと注目されてゐるわが町の「妻の神」地区の遺跡の発掘は、本紙二月号で既報の通り、横濱大馬路時夫、高橋正五郎両教授、秋田大高安泰助教、駒沢大田浩教授、東大考古学研究所主任藤原野矢、ヨロツバ旧石器時代の研究家ヨーン・マリンガ博士(名古屋大学教授、千葉県市川考古学研究所員)の外、明大の学生で編纂された旧石器時代総合調査団の一行二十三名の手で、去月十六日から十日間にわたり行われたが、調査団は三刀班に分れ、芦野湖畔の神地区の砂礫層露出現場発掘、二班は芦野湖畔一帯の調査、三班の地形地質学班は津軽一帯の調査に当たり連日の活動だが、二十日夜宿舎の斜陽館(津島知事旧邸宅)で記者団に対しての中庭発表があるというので訪ねてみた。

最後に秋の如く述べたついでに、秋の学会で報告、その結論は秋の学会で報告、それまで結論づけたらと考へていますが、現在のところ人間が造つたものである可能性があり石器とわかれれば石器製作技術はこれまでにないといつていい製作方法であると考えられる。

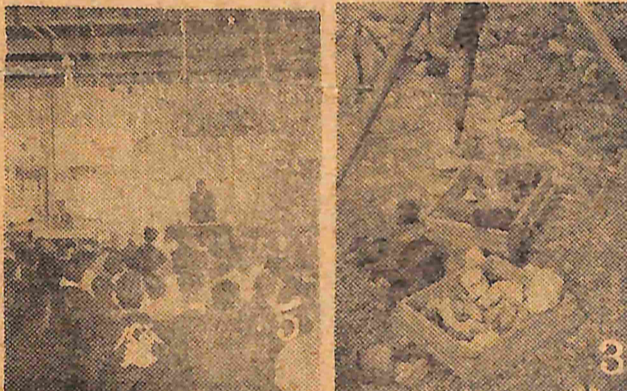
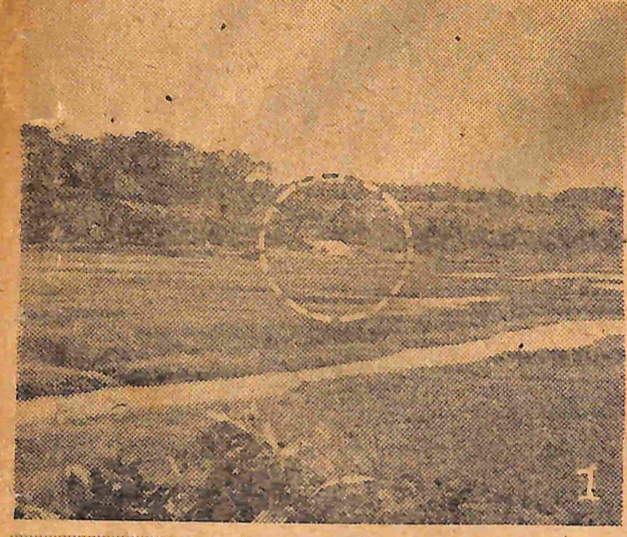
金木遺跡について

昭和二十八年六月二十日 講演 明大文学部考古学研究室 杉原 莊 介

この調査を計画したのは相当前の話で、原田金木考古学会長、松斗小岩考古学研究所員の両氏が芦野湖畔に捨てた旧石器を持つて来てこれをどう思ふかと意見を求められ私に意見を求められた。見ると確かに石器であるものや、旧石器に属するものが見られたが新しい方のもを規準にしてこれを見ると、私達ではそんなに驚く程のものではないと思つた。たまたま昨年十一月当地方に来る機会があつたので両氏に案内を頼み芦野湖に行つたところ、湖の川原石に混つて旧石器時代のものらしい石片を発見、この出土した個所を

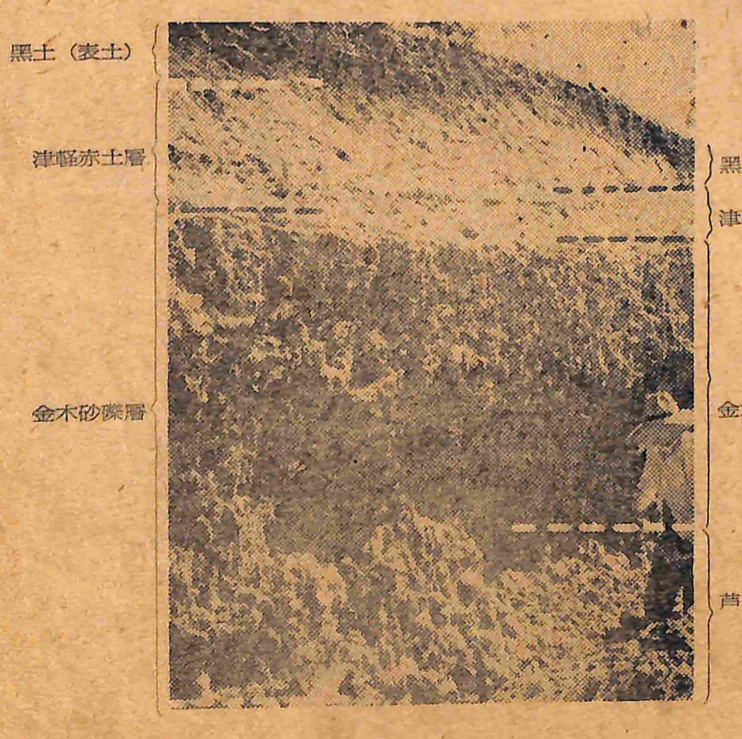
もなるうし、旧石器時代があつたといふことは結果を得た(第四回会報)に報告公表されることになるだろうが、日本海がなかつた時代、大陸から人間が動物とともに渡つたので、旧石器時代の石器であることはいふまでもない。このように、旧石器時代の調査は、日本には二十万年といふ、金木町芦野湖畔に四石器時代があつたことになり、将米旧石器時代とわかつた世界の新石器時代の石器製造定説の場合には日本最初のものと思ふこともできる。今般調査研究を重ねて旧石器があるといふ証明の一つの積石と

たことであるが、縄文文化と縄文の模様がいつた土器を製作する技術があつた時代である。これは土器を作る時粘土を固めるため細目に軋がしたのでこの跡が残つて、これを総称して縄文土器と呼ぶ。日本文化の始まりとされている。次に彌生式に移り古墳文化となり、弥生文化となるわけであるが、縄文時代は石器時代の後で、土器を製作することが判つていたので、この新しい石器時代といふことが出来る。日本の新石器文化は外国のものとは性質が全く異なり、土器を使い、石器も磨いて作つていたの点と異なつてゐる。ヨロツバではこの時代の文化は農耕文化と呼ばれ大麦、小麦を耕作する技術が存在してゐた。日本の場合は新石器時代(縄文)には農耕がなく、生活を営んでゐたといふことが判つてゐる。ヨロツバでは新石器時代の始まりは、農耕文化の始まりであるといふことが判つてゐる。農耕文化の始まりは、農耕文化の始まりであるといふことが判つてゐる。農耕文化の始まりは、農耕文化の始まりであるといふことが判つてゐる。



写真説明 ①奥ノ川原から見た発掘現場(円内) ②発掘中の調査団 ③出土品の旧石器らしきもの ④現場で講演する長杉原教授 ⑤公会堂で講演の同教授 ⑥調査団一行と別れを惜しむ西民関係者

調査団命名による金木遺跡地層の名称



この時代はアジア大陸では青銅器の時代が使用されており、これが日本に渡つて影響したものと思われ、すでに日本にも輝かしい文化の黎明が訪れたのである。なぜ文明と農業が密接に結びつくかといふことであるが、人間は食生活に余力ができる。つまり保存がきく食糧を得ることによつて、次の大和地帯に起きた朝廷が貴族を支配した跡を物語る古墳文化は、埋葬の時に、朝廷の儀式で地方に広まつたものであり、大化の改新が起り、西暦六百四十六年に地方の豪族に余力を以て古墳を作るなど命令が出されて次第に衰微を辿つた。西暦五百三十八年、日本の歴史が年表に記されたが、日本の歴史として盛んになつた古墳文化は西暦四百年代大和朝廷が古墳文化の始まりであるといふことが判つており、日本が政治的統一を遂げた後、古墳文化の治形を整えて興を作つた。始まりは西暦二百年から三百年の間とされ、考古学者の間では二百年とす、三百年とするものも二つに別れて論争してゐる。後述する如く古墳文化の中期は三百年代から五百年代に移つた。三百年代から五百年代に移つた。三百年代から五百年代に移つた。三百年代から五百年代に移つた。三百年代から五百年代に移つた。

二一三千年前には金木町近辺に人が住んでいたかも知れないという最近の話題になっている『金木遺跡』のことである。...



名勝地・老木・古碑

名勝地・老木・古碑

賽ノ川原

「祝賀関係から、まだ問題を解決していない地蔵尊は間近に迫る。例祭日を過ぎ、苦悶を以て立っています。本年はこの例祭を納涼大会の一行として盛大に行うことになっております。」

昭和二年四月一日より町制実施となるのであるから、その準備として同二十一年度において金木川上藤枝一帯に神原の五大字を以て本村を組織し、村名を『金木』と命名した。...

『金木村 従来著名の大村なる中に『金木村百八十六万』と表われ、また次の由緒書によつても、天正九十年二月十一日町制を布き、金木町と改む。...

村数は百三万村であった。その中に『金木村百八十六万』と表われ、また次の由緒書によつても、天正九十年二月十一日町制を布き、金木町と改む。...

『写眞説明』(の苦悶を以て) 地蔵尊(の苦悶を以て) 神原(の苦悶を以て) 藤枝(の苦悶を以て)...

『(一)面よりつゞく』 最後の氷河時代は十万年から二万年以前までであるといわれ、この旧石器時代は一万年前から十万年の間使用されたものであることが現在ではほぼつきりしているものだ。...

を製作する技術のあつた時代、さらに金木はこの技術も幼稚な自然の石を使つたものと考えられ、世界的なものとは形が異つて、ここに多少の困難が残つている。...

『妻ノ神について』 (金木郷土史より) 金木郷土史には『妻ノ神』と記載してあるが、『金木遺跡』として有名になりつつある旧石器時代の出土した場所所は、『妻ノ神地区』である。...

『夏の芦野公園風景』 矢張り『妻ノ神』と唱えられ、時田に入り田村、田で数回、百町の水田を潤している。...

『私ノ声』 文化財を保護しよう。『金木遺跡』に少しでも関心を持つて、立派な御守りをしてあげたい。...

『(二)面よりつゞく』 最後の水河時代は十万年から二万年以前までであるといわれ、この旧石器時代は一万年前から十万年の間使用されたものであることが現在ではほぼつきりしているものだ。...

を製作する技術のあつた時代、さらに金木はこの技術も幼稚な自然の石を使つたものと考えられ、世界的なものとは形が異つて、ここに多少の困難が残つている。...

『妻ノ神について』 (金木郷土史より) 金木郷土史には『妻ノ神』と記載してあるが、『金木遺跡』として有名になりつつある旧石器時代の出土した場所所は、『妻ノ神地区』である。...

『夏の芦野公園風景』 矢張り『妻ノ神』と唱えられ、時田に入り田村、田で数回、百町の水田を潤している。...

『私ノ声』 文化財を保護しよう。『金木遺跡』に少しでも関心を持つて、立派な御守りをしてあげたい。...

『金木遺跡』に少しでも関心を持つて、立派な御守りをしてあげたい。『私ノ声』 文化財を保護しよう。...

『金木遺跡』に少しでも関心を持つて、立派な御守りをしてあげたい。『私ノ声』 文化財を保護しよう。...

『私ノ声』 文化財を保護しよう。『金木遺跡』に少しでも関心を持つて、立派な御守りをしてあげたい。...

らでもあるよ』と平気でいつてい... 『私ノ声』 文化財を保護しよう。...